

平成29年度 朝霞市立朝霞第十小学校学力向上プラン

教育に関する3つの達成目標効果の検証結果

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校全体
読む・書く	28 (実績)	97	97	87	97	93	97	95
	27 (実績)	98	93	92	94	91	96	94
	26 (実績)	93	97	92	93	95	96	94
	25 (実績)	98	97	86	95	94	95	94
計算	28 (実績)	94	95	92	98	92	97	95
	27 (実績)	96	91	94	96	93	98	95
	26 (実績)	93	97	97	95	96	98	96
	25 (実績)	95	97	97	98	98	98	97

学校教育目標

- 【い】意欲ある子
- 【か】考える子
- 【す】健やかな子

学校研究課題

なかまとともに 生き生きと学び合う子
～聴き合う 伝え合う 学びの工夫～

平成28年度教育に関する3つの達成目標検証結果【本校独自実施、正答率が90%以下の項目】

(読む・書く)

3年～文章読解・作文・国語辞典の使い方

4年～文章読解

5年～文章読解・漢字

(計算)

1年～2位数・1位数の計算・時刻の読み方

2年～2けたのたし算・ひき算の筆算

4年～整数の除法(2位数÷1位数、あまりあり)筆算

3けたのたし算・ひき算の筆算

5年～分数の計算(約分)・三角形の面積



平成28年度全国学力・学習状況調査結果(6年)

【成果】

- 「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など、基本的な生活習慣は確立されている。

(国語・算数) 算数の図形の領域以外、平均正答率は全国・県の平均を上回っている。

【課題】

- 家庭でテレビやゲームに多くの時間を費やしている児童の割合が高く、授業時間以外での学習時間が少ないなど、家庭での時間の過ごし方に改善の余地のある児童が多い。

(国語)「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する事項が十分ではない。

(算数) 全国・県と同じ傾向であるが、Bの活用に関する問題の正答率が低い。特に図形や式の意味を問う問題、記述式の問題の正答率が低い。

本校の課題

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・文章の内容を的確に読み取ること
- ・伝えたいことが分かる文章を書くこと
- ・文章の構成に関する理解

○学習したことを活用する力

- ・量を表す単位の読みや換算
- ・小数のかけ算やわり算
- ・分数のたし算やひき算

本校の児童に身につけさせたい学力

- 基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力
- 聴き合い、伝え合うコミュニケーション能力
- 主体的に学習に取り組む態度・意欲

学力向上のために

各教科等の授業における取組

- (全教科) 聴き合い、伝え合う活動を充実させる。(ペア対話・グループ対話)
- (全教科) 自分の思いや考えを整理するために書く活動を取り入れる。
- (全教科) 体験的・問題解決的な活動を通して言語活動を充実させる。
- (国語) 文章をすらすら読める。文章の組み立てを理解する。主語・述語の関係を明らかにして文章を書く。
- (算数) 算数的活動を取り入れた授業を展開する。ワークシートを活用する。繰り返しにより基礎基本の定着を図る。

授業以外の取組

- 学習環境の整備
 - ・教材・教具の工夫
 - ・教材研究の充実
- 朝読書の充実
 - ・ボランティアによる読み聞かせの充実
- ステップアップ教室の充実(4～6学年)

家庭・地域との連携

- 家庭学習の工夫
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・10分×学年+10分の習慣
- 家庭の理解と協力
 - ・基本的な生活習慣の確立(靴ぞろえ・挨拶・返事)
- 学校応援団の活用
 - ・学習ボランティアの活用